



## (全国地方議会サミット 2021) 参加報告書

【報告者】

草津市議会会派 (チャレンジくさつ)

八木 良人



標記の研修会参加につきまして、下記の通り、報告します。

### 記

#### I 研修会の概要

- 名称 全国地方議会サミット 2021
- 日時 2021年7月7日(水曜日) 13時-18時  
2021年7月8日(木曜日) 10時-16時
- 会場 早稲田大学大隈記念講堂及びオンライン
- 参加場所 草津市議会チャレンジくさつ会派室
- 参加者 草津市議会チャレンジくさつ 八木良人

# 全国地方議会サミット2021

改革から変革へデジタルで議会が変革する

- 名称 全国地方議会サミット2021
- 日時 2021年7月7日（水曜日）13時-18時  
2021年7月8日（木曜日）10時-16時
- 会場 早稲田大学大隈記念講堂及びオンライン
- 主催 ローカル・マニフェスト推進連盟／マニフェスト大賞実行委員会
- 共催 早稲田大学マニフェスト研究所
- 後援 全国市議会議長会
- プログラム（1日目）
  - 基調講演 「チーム議会でデジタル変革を」
    - 北川 正恭（早稲田大学名誉教授／元三重県知事）
  - 講演 「地域におけるDX —自治体DX・住民接点DXから地域活性DXへ—」
    - 松本 良平（(株)NTTデータ 企画調整室長）
  - 特別講演「だれひとり取り残さない—デジタル庁の変革ビジョン—」
    - 平井 卓也（デジタル改革担当大臣）
  - 議会セッション「オンライン議会の最前線と議会からのDX」
    - 前田 将臣（大阪府議会議員）
    - 齋藤 久代（茨城県取手市議会議員）
    - 鈴木 太郎（自由民主党横浜市会議員団团长）
  - 議会セッション
  - 「『議会からの政策サイクル』の作動とチーム議会への変革—議会評価による検証を起点に—」
    - 江藤 俊昭（大正大学社会共生学部教授）
    - 清川 雅史（会津若松市議会議員）
    - 川上 文浩（可児市議会議員）
    - 野澤 清（日本生産性本部）
- プログラム（2日目）
  - 講演「社会の変革とこれからの地方自治を展望する」
    - 廣瀬 克哉（法政大学総長）
  - 議会事務局セッション 「チーム議会における議会（事務）局職員のミッション」
    - 吉田 利宏（コーディネーター／元衆議院法制局参事）
    - 清水 克士（滋賀県大津市議会 議会局長）
    - 浜田 将彰（東京都墨田区監査委員・前区議会事務局長）
    - 臼井 明子（神奈川県茅ヶ崎市議会事務局次長補佐）
  - 講演「議会改革度調査より 議会DX・多様な参加の最新トレンド」
    - 中村 健（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）
  - メディアセッション「映画『はりぼて』の現場から」
    - 砂沢 智史（(株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督）

- 「社会の変化とメディアからみる地方議会」
- 千葉 茂明（コーディネーター／月刊「ガバナンス」編集主幹）
- 人羅 格（毎日新聞社論説委員）
- 山下 剛（朝日新聞記者）
- 杉田 淳（NHK報道局 選挙プロジェクト 記者）
- 砂沢 智史（(株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督）
- 講演「社会の変革に対応する自治体と議会の役割」
  - 片山 善博（早稲田大学教授／元総務大臣）



## 全国地方議会サミットに参加して

全国地方議会サミットは、「議会から地域を変え・地域から日本を変えていく」を掲げ、全国の議会関係者1,000人規模で開催してきた「全国地方議会サミット」です。

今年は「改革から変革へ デジタルで議会が変革する」をテーマに2021年7月7日-8日早稲田大学大隈講堂にて開催されました。

2日間にわたり、デジタル改革担当大臣の平井大臣をはじめ、地方議会・マスコミ・アカデミアから多くの方の登壇により非常に中身の濃いセッションがくりひろげられました。デジタル改革や地方議会DXについてや、富山県議会で起きた政務活動費不正使用のドキュメント映画を制作したチューリップテレビ担当ディレクターのお話、大津市議会でのデジタル化の実践例など、多岐にわたる内容でした。

コロナ禍によって、大きな変化を余儀なくされた社会のあり方や議会のあり方などが、デジタル改革やDXという切り口から様々な討論が繰り広げられました。

草津市においても、他市町村と同様に変革が迫られていると思います。そのような変革を成功に導くには、地方単独で考えるのではなく、今回のような全国規模のサミット参加者のネットワークをいかして多くの実践例や知恵を結集することが必要だと感じました。

サミットでは、これからの議会改革においては、デジタル化やDXがキーワードになるということを確認することができましたが、同時に、それらが目的になってはいけない、あくまで手段のひとつであるということ意識することも忘れてはいけないことだと思いました。